

.....
本 会 記 事
.....

JSPMIC2022 開催について

本年秋季、2022年11月13日（日）～15日（火）に京都市上京区の同志社大学寒梅館にて“International Conference on Powder and Powder Metallurgy, 2022, Kyoto (JSPMIC2022)”を開催します。

直近では、2017年に創立60周年を記念してJSPMIC2017（JSPM International Conference on Powder and Powder Metallurgy ～ 60th Anniversary ～）の国際会議を開催しました。JSPMIC2017では、17か国からOral Session 202件、Poster Session 82件の合計284件の発表があり、国内の発表数は、Oral 163件、Poster 65件でした。国内参加者323名の内学生の参加者は94名ありました。JSPMIC2017終了後、海外での国際会議に参加できない学生に英語で発表する機会を与えること、若い人に国際会議の座長を経験してもらうこと、また、国際会議の運営を継承していく意味においても定期的に会議を開催しようとの声が挙がりました。新型コロナウイルス感染のパンデミックが起り、沢山の国際会議が中止や延期に追い込まれましたが、少しずつ国際会議開催の機運が高まりだした状況を受けて、JSPMIC2022を開催することになりました。

本誌にJSPMIC2022の1st Announcement and Call for Papersを掲載していますが、当協会に関連する分野を41のカテゴリーに分けて一般の講演募集を行っております。関係分野の著名な方を海外から招き、ご講演を頂く予定をしています。会議の公用語は英語で行います。このコロナ禍、国際会議での体験が減る学生や若手エンジニアの方にとって、英語で講演発表をする、英語で質疑応答をするなど良い機会として頂きたいと思います。多くの新しい情報発信の場ではありますが、今回学生の方には以前に日本語で発表したものを英語で発表することも可能としました。是非積極的に英語での発表に挑戦して頂きたいと思います。講演申込はJSPMIC2022のWebサイト（<https://confit.atlas.jp/guide/event/jspmic2022kyoto/top?lang=en>）から行えます。講演の申込期限は7月22日（金）です。多くのご発表の申し込みをお待ちしています。

今回会場となる同志社大学寒梅館は、京都御苑の西北すぐの処に位置しています。京都御苑は周囲約4キロにわたる広大な土地で、公園などもあり京都に住む人にとっては憩いの場となっています。御苑の中には京都御所や仙洞御所、京都迎賓館などいろいろな施設があります。京都御所は、平安時代から明治に至る千年の間、天皇の住まいとなっていた処で、今は通年公開をされており、申込不要でいつでも訪れることができます。自由参観できますが、初めての訪れられる方には参観ツアーガイド（日本語4回/日、英語・中国語各2回/日）がおすすめです。天皇即位の際に使用された高御座を見ることもできます。仙洞御所、京都迎賓館は予約が必要ですが、ご興味のある方はこれを機に訪ねてください。会議が行われる11月中旬はちょうど紅葉も見ごろで、いつも以上の楽しみが加わることでしょう。

また、今回JSPMIC2022のパーティー（2022年度秋季大会懇親会を兼ねる）は、会議の最終日、11月15日（火）夕刻に京都市左京区にある平安神宮会館で行います。会場は名前の通り、岡崎公園の一角にある平安神宮の東神苑に隣接する会館で、会場からは美しいお庭を望むことができます。参加者の皆様にはひと時京都の秋を楽しみながら、交流を深めて頂きたいと思います。お時間が許す方は、パーティーの前に平安神宮周辺の散策を楽しんで頂ければと思います。

本国際会議のプロシーディングス集の発行は予定しておりませんが、今回JSPMIC2022で発表された内容をまとめた論文を、当協会誌「粉体および粉末冶金」に是非ご投稿ください。但し、ご投稿頂く場合はオリジナルの発表のものに限ります。また、今回の参加費には、論文掲載料は含まれていませんので、別途論文掲載料が必要となることにご注意下さい。論文原稿提出の期限は設けておりませんので、ご準備できた時点で「粉体および粉末冶金」投稿審査システムよりご投稿頂ければと思います。

JSPMIC2022の国際会議に引き続き11月16日（水）、17日（木）の2日間、同会場にて2022年度秋季大会を行います。こちらは6月上旬に講演募集を開始します。国際会議参加者の方は、2022年度秋季大会の参加登録費は無料です。秋季大会については改めてご案内を申し上げますが、国際会議と併せてご発表、ご参加をご検討下さい。お待ちしております。（井上羊子）